さぬき市民病院だより 煩

〒769-2393 香川県市協商市塞川町石田東甲387番地1 TEL 0879(43)2521 FAX 0879(43)6469



さぬき市民病院季刊詩「癒」第 21 号 発行者/さぬき市民病院 編集/広報委員会 発行: 2024 年 3 月 vol.21

令和5年度を振り返って…





さぬき市病院事業管理者・市民病院長 徳田 道昭



予防医学から救急対応、慢性期介護に至る"保健・医療・福祉システム"に大きなダメージを与えた COVID19 感染症でしたが、令和5年5月からは感染法上の2類から5類に変更されて"季節性インフルエンザ"と同じ扱いになったことは記憶に新しいところです。夜の街には数多くの人々が集い、外国からも数多くの観光客が日本を訪れるなど、"コロナ"以前の活気を取り戻したように見えました。

一方、新年早々の休日当番日には、発熱外来に季節性インフルエンザと COVID19 感染の患者さんが数多く受診されました。と同時に、病棟の看護スタッフに感染陽性者が出たため、昨年と同様に医療スタッフの負担は限界に近づきました。

ちなみに、COVID19 ウィルスにおける頻回な遺伝子変異を見ていると、このウィルスが消滅する可能性は低く、来年の秋冬も"コロナ"と"インフル"のウィルス競合が続くような気がします。それを予防するには、特に医療福祉機関では毎年のワクチン接種、手洗いとマスク着用が必須と思われます。

一方、令和6年1月には能登半島が大きな地震に襲われ、数多くの家々が崩壊し、幹線道路も寸断されました。地域の学校や公民館は数多くの避難者で溢れ、地域の病院は多数の受傷者で溢れました。また、透析や手術が必要な患者さんの搬送が必要となり、全国の"DMAT"に出動が要請され、当院からも一部隊が支援に出向しました。

このような"感染症パンデミック"や"大規模自然災害"の際には、公立病院の"有事対応"が必要とされることは毎年この頁でも触れています。その公立病院に対して、「経営の効率化」という名目で"病床数削減"や "再編と統合"を行っても良いものか、さらには「医師の働き方改革」という名目で"医療供給量"を削減しても良いものか、大いなる疑問を禁じ得ません。

即ち、有事に備えるには"ゆとりを持った病床数"で医療を展開し、"適切な配置基準"に基づく医療人員と運営費用は国や県から供給されるのが理想と考えます。さらに極言すれば、「災害対策」や「地域医療」のあるべき姿については、国ではなく地方行政が固有のビジョンを策定し、地域の事情に即した方針で運営することが最善と考えますが、今後の医療福祉政策の展開を慎重に見守る必要があります。

児童虐待防止研修会

10月13日(金)、当院にて児童虐待防止研修を行いました。講師に四国こどもとおとなの医療センターの木下先生と福田先生をお招きし、こども虐待における医療機関の役割と具体的な問診・診察、体制づくりについて学ぶことができました。



職場体験学習

さぬき市内の4校の中学校から、9名の方が職場体験学習に参加しました! このイベントは、普段直接関わる機会の少ない医療関係者との交流や職場体験学習を通じて、保健医療福祉について理解や関心を深めていただけるよう企画したものです。

実際に体験された学生さんからは、「将来の目標に生かしたい」「貴重な体験ができた」などの表をいただきました。



10月31日(火)、院内保育所の園児たちがかわいらしい仮装でハロウィンを楽しみました!!







お菓子もらったよ!

クロサバスの会

11月7日(火)、当院正面玄関前にてクローバーの会の皆さんと寒川小学校・石田高校の生徒さん(総勢 40 名)が、色とりどりのパンジー等を植えてくださいました。

ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました!!









2023

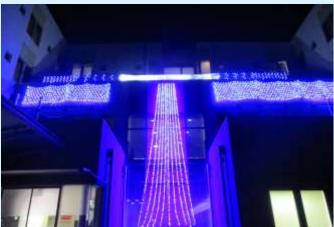
世界糖尿病示一

スルーライトアップ

11月13日(月)から同月19日(日)まで、当院にて『世界糖尿病デー ブルーライトアップ』を行いました。13日には、当院正面玄関にて点灯セレモニーを開催し、カウントダウンと共に約2,000個のブルーライトを投光しました!

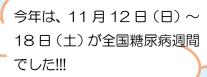
ブルーライトアップを通して、糖尿病について考え、予防に向けた一歩を踏み出してい

ただきたいと思います。



点灯セレモニーの様子













健康教室

世界糖尿病デーイベントの一環として令和5年11月14日(火)に健康教室を開催しました。

フードモデルを選びトレーにのせることで栄養計算、栄養バランスがチェックできる 「体験型栄養教育システム」をはじめとし、体組成検査や筋力測定、頭と身体を動かす 「コグニサイズ」など盛りだくさんの内容となりました。

今回初めての試みでしたが今後も皆さんに楽しみながら健康に興味を持っていただける

イベントを企画したいと考えております。











令和5年度 災害時対応訓練を実施しました

11月25日(土)、当院 DMAT(災害医療派遣チーム)の 指導のもと、大規模地震の発生を想定した院内災害時対応訓練 を実施しました。

当院職員と寒川高校の生徒さん総勢130人が参加し、災害対策本部、外来指揮所、トリアージエリア及び赤・黄・緑・黒エリアの設置・運営を行い、緊張感のある有意義な訓練となりました。

今後も継続して実施し、発災時に適切な医療を迅速に提供できる体制づくりに努めてまいります。



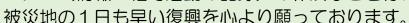


能登半島地震の被災地である石川県に DMAT を派遣しました

香川県からの要請を受け、1月11日(木)から同月18日(木)まで、当院 DMAT (災害派遣医療チーム)が能登半島地震で被災した石川県で医療支援活動を行いました。

医師 1 名、看護師 2 名、業務調整員 2 名(薬剤師 1 名、臨床検査技師 1 名)が同県七尾市にある能登総合病院を拠点に、患者搬送業務等に従事しました。平成 28 年の熊本地震での活動経験を生かし、スムーズに活動することができました。

続いて、2月8日(木)から同月14日(水)まで、上記の業務調整員2名が県から要請を受け DMAT ロジスティックチームの一員として、同県輪島市の輪島市役所内に設置された輪島市保健医療福祉調整本部において、各種会議の資料作成(現状分析と課題抽出)、クロノロ(情報・経時活動の記録)の作成などを行いました。







テーマ「遠隔医療による地域保健医療体制の改善」- 日本の遠隔医療先進県の事例を通じて-

JICA 課題別研修における当院への訪問見学を行いました



令和5年度 JICA 課題別研修における病院見学を行いました!

当院の病院長と助産師が講演したのち、アジア、アフリカ、中米、およびヨーロッパ各国から、医師、医療行政官など、約20人が来院し、産婦人科や分娩室等を見学しました。





BCP ワーキンググループを設置しました!

BCPとは、「Business Continuity Plan 事業継続計画」の略で、災害発生時等の緊急事態が生じた時に、損害を最小限に抑え、業務の早期復旧を図ることを目的とした計画です。



なかでも、病院事業においては、緊急時に多数の傷病者の

受け入れ、被災地域への職員の派遣等、平時以上の力を発揮することが求められています。

したがって、地震、台風、大雨等の自然災害はもとより、近年猛威を振う病院を標的としたサイバー攻撃に対応できる最新の計画を常に整備しておく必要があります。

こうしたことから、最新の知見をもとに、BCPの改訂を常時行うことを目的に、臨床工学技士、薬剤師、看護師及び事務職員で編成するBCP-WG(ビーシーピーワーキンググループ)を設置しています。

ワーキンググループでは、年4回の定例会をはじめ、必要に応じて会議を開き調査検討 を重ね災害発生時等に備えています。

【グループリーダーからひと言】

昨今、各地での自然災害や「南海トラフ地震」等の発生に備え、BCP-WGを設置いたしました。職員の災害に対する意識の向上及び災害発生時に対応に向け、BCPの改訂に令和5年6月より取り組んでいます。

今後起こりうる様々な災害に対応できるBCPに改訂し、 市民の皆様に安心・安全に過ごしていただけるよう努めてま いります。

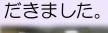


さぬき市民病院 院内研究発表会を開催!!

令和6年2月17日(土)、院内研究発表会を開催しました。

会場での開催は実に4年振りで、職員だけでなく、近隣の高校や介護保険施設の方など、 約75名が参加されました!

各部門から計で演題の研究発表がなされ、参加者からは「様々な発表を聞いて学びが深まった。」「非常に分かりやすくまとめられていて、理解しやすかった。」等の感想をいた









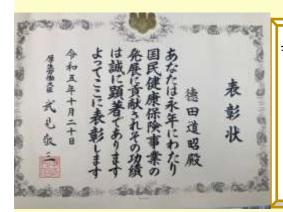


徳田病院長が表彰されました!

昨年の10月20日(金)に、徳田病院長が厚生労働大臣から栄えある表彰状を授与されました。

この理由は、徳田病院長が長年にわたって香川県国民健康保険診療報酬審査委員会の審査委員としてご活躍されたことによるものです。

徳田病院長、大変名誉ある表彰おめでとうございます。



令和5年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣 表彰

香川県国民健康保険診療報酬審査委員会 委員 病院事業管理者 徳田道昭



非常食を寄贈しました

2月28日(水)、備蓄非常食の更新に伴い、一部の非常 食をさぬき市社会福祉協議会に寄贈しました。

調理・食器不要のすぐに食べられるご飯や、柔らかなままで5年間の長期保存が可能なパンの非常食を寄贈しました。

食品はフードバンクを通じて、支援の必要な個人、団体に提供される予定です。



さぬき市民病院 LINE はじめました!

新着情報をはじめ、当院の情報をタイムリーにお届けします!

QRコードで友だち追加

LINE アプリの「友だち追加」→「QR コード」から 下の QR コードを撮影して追加してください





I D検索で友だち追加

LINE アプリの「友だち追加」→「検索」から 下のID で検索して追加してください

LINE ID

@883duhtx

アカウント名

さぬき市民病院

【問】さぬき市民病院

プロジェクト推進室 ☎0879-43-2521

2024.3 さぬき市民病院だより「癒」vol.21

帯量目長い

2024年 **3月** さぬき市民病院





食事で花粉症対策をしてみましょう!!

花粉症とは、アレルギー性疾患の 1 つです。体内に入ってきた花粉を体が異物と判断し、花粉を体の外へ追い出そうと免疫機能が過剰に働くことで、「くしゃみ・鼻水・鼻づきり」といった鼻の症状や「かゆみ・涙・充血」といった目の症状が現れます。これからの時期に、食事で花粉症対策してみませんか?

免疫機能を整える

★発酵食品★

善玉菌(乳酸菌やビフィスス菌) で腸内理境を整える









★食物繊維★

水溶性食物繊維は、腸内の善玉 菌の工サとなり、整腸作用を助け る









アレルギー症状を緩和させる

★n-3 系脂肪酸

油の 1種でα・リノレン酸と DHA・EPA がある。 アレルギー反応を引き起こす物質の炎症反応を抑える

αーリ/レン酸

しそ・えごき油・亜麻仁油

DHA

EPA

あじ・さば・いわし さんま・ぶいなどの青魚 他、 さけ・いくらなど









厚生労働省「花粉症の民間医療について」・株式会社医薬品情報センター「花粉症について」参考と一部引用

ひまわりレシピ

院内保育所の「ひまわり」に提供しているかわいいレシピをご紹介します



鬼さんおにきり

子ども1人前

米飯・・・・110g 味付けのり・・0.5g 卵・・・・・10g ハム・・・・・2.5g 油・・・・・0.2g 花かつお・・・0.3g

子ども達は「<mark>鬼さん、鬼さん</mark>」と 客んで食べてくれました!

- ①フライパンに油を引き、花かつおと濃口醤油を入れて 軽く妙める
- 2 卵で薄焼き卵を作り、鬼の角の形にかたどる
- 3味付けのりで目と口をかたどる
- 4 ハムで鬼のほっぺたを作る
- ⑤おにぎりを作り、①~④を写真のように飾る

